

現場から 17衆院選

好況実感 都心でも一握り



(1面の続き)
アベノミクスの光と影は、日本経済の大きな争点だ。長戦略は成果が出てくるのに時間がかかる。根気が強くやつていかなければならない」と代田区や港区、新宿区を抱える東京1区では、上向く景気の波に乗った「勝ち組」が目立つ。

「経済再生一直線」の流れを止める「ばなりない」12日朝、自民党的山田美樹は通勤途中のサラリーマンが行き交う東京都港区の交差点で、経済政策の懸念を求めて

声を張り上げた。港区の中小企業や商店街を回ると、「成長戦略は成果が出てくるのに時間がかかる。根気が強くやつていかなければならない」と

説明している。

大胆な金融緩和による円安と株高は、企業業績の大綱な改善をもたらした。安倍政権は「戦後2位の『いざなぎ景気』を超える景気回復になつた可能性が高い」(茂木經濟再生相)と説く。

東京・九段北の複合ビルに居を構える不動産会社「ディア・ライフ」。従業員は50人ほどだが、都心周辺ならマシンション開発に意を用いる戦略が奏功し、売上高が2012年度の19億円からこの4年で5倍以上に跳ね上がった。阿部幸広社長(49)は「アベノミクスによる低金利の後押しがあった」と語る。

「だが、恩恵は十分に行き渡り現在。白抜き数字は当選回数。(以下同じ)

立候補者

立候補者